

脱炭素時代のブランド構築

～自社の取り組みを競争優位につなげる『環境ブランディング』とは～

「脱炭素時代のブランド構築」をテーマに、
中小企業などの環境ブランディング事例やそのメリットを解説します。
競争優位を築くための具体的な戦略を学べるセミナーです。

10/16
(水)

時間：15:15～16:45

場所：マリンメッセ福岡 B館2階 特別会場
(モノづくりフェア2024 会場内)

LIVE配信あり



※ご来場の際は、モノづくりフェア2024ホームページでの事前登録が必要です。
事前登録できない方は、名刺2枚をご持参のうえ当日登録所にて「入場登録」をお願いします。
博多駅から無料シャトルバスが運行されます。(モノづくりフェア2024ホームページでご確認下さい。)

申込：K-RIPホームページからお申し込み下さい。

<https://k-rip.gr.jp/event/fukuokac-2402/>



参加費 無料

1
基調講演

株式会社 バイウィル

15:20～16:10

BYWILL

代表取締役CSO 兼
カーボンニュートラル
総研 所長



伊佐 陽介氏

環境への取り組みをブランド価値向上につなげる
効果的な発信方法とは？

グローバルメガトレンドである「脱炭素」ですが、取り組む理由は「義務だから」「外部からの要請で」などが多く、投資に見合う企業価値向上のための戦略と脱炭素を完全に接続・統合できている企業は限定的です。今回は「脱炭素」の取り組みを、どのようにして「企業価値向上」や「ビジネスチャンス拡大」「競争力強化」につなげるかを、「環境ブランディング」という新しい切り口でお伝えします。

2
事例紹介

SAGA COLLECTIVE 協同組合

16:10～16:40

SAGA COLLECTIVE

事務局長



山口 真知氏

SAGA COLLECTIVE

～ものづくりを伝承する“CO₂ゼロ”のローカルブランド～

SAGA COLLECTIVEは、佐賀の異業種11社からなる協同組合です。私たち伝統産業は、人と地域と自然の関係が持続可能でなければ成り立ちません。産業が発展するほど、森が回復する、体に優しく美味しいものが食べられる、再生可能なエネルギーが循環する。こうした未来を実現していくために、すべての商品をカーボンオフセットしています。

主催

福岡市
日刊工業新聞社

運営事務局

一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
九州環境エネルギー産業推進機構 (K-RIP)